

科目名	靴製作実習Ⅲ			授業の種類	実習	講師名		
授業回数	45回	時間数	90時間 (2単位)	配当学年・時期	整形靴科2年		必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕								
製作時間（作業効率・スケジューリング）の意識付けを第一の目的とし、異なるデザインの2足の靴を指定された仕様どおりに製作する。繰り返しの作業については製作スピードの向上を、新たな製作技術については応用力の習得を目指す。また、自己評価をすることで、製作のポイントを学び、客観的に製品の可・不可を判断できる力を身につけさせる。								
〔授業全体の内容の概要〕								
クラスメイトで木型を交換し、他者が作った木型を用いて製作をする。設定時間内で指定されたデザインの靴を2足製作する。1年次に身に付けた部分でのデモは省き、製作時間を多く確保する。製作の時間管理を徹底させるため、制限時間を設け、各工程ごとに要した時間を記録シートに記録する。各工程終了時に所定の自己評価シートに沿って製作物を自己評価し、その後、教員のチェックを受ける。								
〔講師の実務経験〕								
〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕								
時間コストの重要性について理解することができる。自身でスケジュール管理をし製作することができる。様々な製作工程・方法を習得することで、それぞれのメリット・デメリットを理解することができる。製作物の製品チェック項目を理解した上での確に製品を評価できるようになる。								
回数	講義内容							
1	導入：授業の目+B17:L36的・スケジュールの説明							
2	フットプリント・フットベッド製作							
3	フットプリント・フットベッド製作							
4	フットベッド製作							
5	フットベッド製作							
6	フットベッド製作・自己評価・教員チェック							
7	ラストコピー パターンデザイン							
8	パターンデザイン・アッパー製作							
9	パターンデザイン・アッパー製作							
10	パターンデザイン・アッパー製作							
11	アッパー製作（履き口クッション・メッシュを用いたアッパー製作）							
12	アッパー製作							
13	アッパー製作							
14	アッパー製作・自己評価・教員チェック							
15	つり込み準備（カウンター製作）							
16	つり込み（熱可塑性樹脂でのカウンター製作とつり込み）							
17	つり込み							
18	つり込み							
19	つり込み・自己評価・教員チェック							
20	底付け（SACHヒール）							

科目名	靴製作実習Ⅲ			授業の種類	実習	講師名		
授業回数	45回	時間数	90時間 (2単位)	配当学年・時期	整形靴科2年		必修・選択	必修
回数	講義内容							
21	底付け							
22	底付け							
23	底付け自己評価・仕上げ（木型抜き、トップカバー、ファイナルグライディング・ソールインク）							
24	仕上げ（木型抜き、トップカバー、ファイナルグライディング・ソールインク）・時間があれば適合チェックと微調整							
25	フットベッド製作							
26	フットベッド製作							
27	フットベッド製作・自己評価・教員チェック							
28	ラストコピー パターンデザイン							
29	パターンデザイン・アッパー製作							
30	パターンデザイン・アッパー製作							
31	パターンデザイン・アッパー製作							
32	アッパー製作（履き口クッション・メッシュを用いたアッパー製作）							
33	アッパー製作・自己評価・教員チェック							
34	つり込み準備（カウンター製作）							
35	つり込み（熱可塑性樹脂でのカウンター製作とつり込み）							
36	つり込み							
37	つり込み							
38	つり込み・自己評価・教員チェック							
39	底付け（SACHヒール）							
40	つり込み・自己評価・教員チェック							
41	底付け							
42	底付け							
43	底付け自己評価・仕上げ（木型抜き、トップカバー、ファイナルグライディング・ソールインク）							
44	仕上げ（木型抜き、トップカバー、ファイナルグライディング・ソールインク）・時間があれば適合チェックと微調整							
45	振り返り まとめ 計画書記入							

【 使用テキスト 】

書籍名	著者名	出版社
なし		

【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】

製作時間及び製作物の完成度、自己評価シートで評価する
